

令和 7 年度の決算概要について

1 令和 7 年度入院・外来実績

(1) 入院

ア 延入院患者数は 108,642 人となり、前年度実績（112,848 人）と比べて 4,206 人減少しました。

イ 一日平均入院患者数は 297.6 人となり、前年度実績（309.2 人/日）と比べて 11.6 人減少しました。

ウ 患者一人 1 日あたりの診療単価は 70,580 円となり、前年度実績（69,346 円）と比べて 1,234 円増加しました。

・以上の結果、入院収益については、入院単価が上昇しましたが、患者数の減少により、前年度決算額と比べて 1 億 5,700 万円余減少しました。

(2) 外来

ア 延外来患者数は 131,134 人となり、前年度実績（128,436 人）と比べて 2,698 人増加しました。

イ 外来診療日（242 日/年）一日当たりの平均患者数は、541.9 人となり、前年度実績（528.5 人/日）（243 日/年）と比べて 13.4 人増加しました。

ウ 患者一人 1 日あたりの診療単価は 24,361 円となり、前年度実績（23,380 円）と比べて 981 円増加しました。

・以上の結果、外来収益については、患者数の増加及び、外来単価の上昇により前年度決算額と比べて、1 億 9,100 万円余増加しました。

【入院・外来実績 年度推移】

区 分		令和6年度決算 ①	令和7年度決算 ②	前年度対比	
				②-①	②÷①
入院	延入院患者数（人）	112,848	108,642	▲ 4,206	96.3
	本院分	108,981	104,388	▲ 4,593	95.8
	救命C分	3,867	4,254	387	110.0
	1日平均入院患者数（人）	309.2	297.6	▲ 11.6	96.2
	本院分	298.6	286.0	▲ 12.6	95.8
	救命C分	10.6	11.7	1.1	110.4
	病床利用率（許可ベース）（％）	74.9	73.0	▲ 1.9	97.5
	本院分	77.6	78.3	0.7	100.9
	救命C分	37.8	41.6	3.8	110.1
	病床利用率（実稼働ベース）（％）	78.1	74.8	▲ 3.3	95.8
	本院分	80.3	79.6	▲ 0.7	99.1
	救命C分	44.1	48.6	4.5	110.2
外来	入院1日診療単価（円）	69,346	70,580	1,234	101.8
	入院収益（千円）	7,825,560	7,668,001	▲ 157,559	98.0
	平均在院日数（日）	12.1	11.4	▲ 0.7	94.2
	延外来患者数（人）	128,436	131,134	2,698	102.1
	1日平均外来患者数（人）	528.5	541.9	13.4	102.5
外来	外来1日診療単価（円）	23,380	24,361	981	104.2
	外来収益（千円）	3,002,858	3,194,532	191,674	106.4
紹介率		79.4	80.3	0.9	101.1

2 令和7年度収支実績

(1) 収益的収支（税抜）

ア 収益

- ・収益は132億円余で前年度の決算額を3億2,500万円余上回りました。
- ・医業収益は、入院患者数の減少により、入院収益は76億6,800万円余と前年度の決算額と比べて1億5,700万円余減少しました。また、外来収益は、外来患者数の増加及び、外来単価の上昇により、31億9,400万円余と前年度と比較して1億9,100万円余増加しました。
- ・その他営業収益については、物価上昇、賃上げにかかる補助金により、2億5,700万円余の増加となりました。
- ・運営費負担金収益（営業収益）については、公的年金拠出金の受入と、リニアックの償還が始まったことに伴い、前年度と比較して2億1,600万円余上回りました。
- ・臨時利益については、過年度預り金の戻し入れによるものです。

イ 費用

- ・費用は148億9,200万円余で、前年度と比較し、1億5,000万円余減少しています。前年度は臨時損失として7億円余の計上があったことによるものです。今年度は過年度に発生した薬品在庫額を精査したことによる過年度損益修正により、1,600万円余の計上となりました。
- 給与費について、退職給付引当金は、金融金利の上昇による割引率の変更により8,200万円余減少しましたが、人員増及び三重県人事委員会勧告による本給と賞与引き上げにより、2億2,600万円余増加しました。
- 経費は、光熱水費が4,600万円余減少しましたが、委託費が1億700万円余増加したことにより、6,800万円余増加しました。
- 材料費は、薬品費の増等により前年度と比べて1億8,900万円余増加しました。

ウ 損益

- ・経常損益は16億7,500万円余の赤字となり、前年度と比較して、ほぼ横並びになっています。純損益は16億4,200万円余の赤字となり、前年度と比較して4億7,600万円余収支は改善しています。
- 昨年度は診療報酬返還に伴う引当金計上が7億円余りあったことから、純損益の前年度対比が大きくなっております。
- 経常赤字となった最も大きな要因は、医業収益は微増したものの、人件費の増加等による費用がそれらを上回り、大幅な赤字となりました。

(2) 資本的収支（税込）

- ・建設改良費は11億9,900万円余となり、前年度と比較して、4億9,800万円余の増額となりました。主な建設改良費としては、非常用発電設備更新（6億6,400万円余）、眼科関連機器（1億3,700万円余）ナースコール設備更新（7,100万円余）、空調設備（7,100万円余）、ガンマカメラ（6,490万円）等があります。
- ・以上の結果、資本的収支は、7億円余のマイナスとなりました。

【収益的収支】（税抜）

（単位：千円）

区分	款	項	令和6年度決算 A	令和7年度決算 B	前年度対比 C=B-A
収益	営業 収益	医業収益 ①	10,991,139	11,030,904	39,765
		うち入院収益	7,825,560	7,668,001	▲ 157,559
		うち外来収益	3,002,858	3,194,532	191,674
		運営負担金収益	1,437,354	1,653,785	216,431
		資産見返負債戻入	62,852	63,606	754
		その他営業収益	45,616	303,348	257,732
		小計 ③	12,536,961	13,051,643	514,682
	営業外 収益	運営負担金収益	10,798	14,111	3,313
		その他営業外収益	123,799	135,333	11,534
		小計 ④	134,597	149,444	14,847
臨時利益 ⑦		252,421	48,880	▲ 203,541	
計		12,923,979	13,249,967	325,988	

費用	営業 費用	医業費用	13,148,353	13,624,440	476,087
		給与費	6,939,923	7,144,915	204,992
		材料費	3,046,680	3,235,708	189,028
		うち薬品費	1,670,280	1,802,206	131,926
		うち診療材料費	1,301,778	1,361,326	59,548
		経費	2,153,818	2,221,830	68,012
		減価償却費	966,416	978,320	11,904
		資産減耗費	6,086	6,981	895
		研究研修費	35,429	36,725	1,296
		一般管理費	594,641	621,727	27,086
		うち給与費	499,922	521,847	21,925
		小計 ②	13,742,994	14,246,167	503,173
		営業外 費用	財務費用	21,415	31,338
	その他営業外費用		576,468	599,118	22,650
	小計 ⑤		597,883	630,456	32,573
	臨時損失 ⑧		701,942	16,143	▲ 685,799
	計		15,042,819	14,892,766	▲ 150,053

【医業損益】 ①－②			▲ 2,751,855	▲ 3,215,263	▲ 463,408
【経常損益】 ⑥ (③+④)－(②+⑤)			▲ 1,669,319	▲ 1,675,536	▲ 6,217
【純 損 益】 ⑥+⑦－⑧			▲ 2,118,840	▲ 1,642,799	476,041

【資本的収支】（税込）

（単位：千円）

区分	款	項	令和6年度決算 D	令和7年度決算 E	前年度対比 F
収入	資本的 収 入	長期借入金	685,000	1,126,000	441,000
		運営負担金	0	0	0
		その他収入	8,687	9,530	843
		小計 ⑨	693,687	1,135,530	441,843
支出	資本的 支 出	建設改良費	701,033	1,199,448	498,415
		償還金	480,447	636,425	155,978
		投資有価証券購入費	0	0	0
		小計 ⑩	1,181,480	1,835,873	654,393
収 支 ⑨-⑩			▲ 487,793	▲ 700,343	▲ 212,550

3 経営指標

・令和7年度経営指標の各比率については下記のとおりです。

（単位：％）

	令和6年度実績 a	令和7年度実績 b	前年度対比 b - a
医業収支比率	80.0	77.4	▲ 2.6
経常収支比率	88.4	88.7	0.3
給与比率（対医業収益）	67.7	69.5	1.8
材料比率（対医業収益）	27.7	29.3	1.6
経費比率（対医業収益）	20.5	21.0	0.5
繰入比率（対経常収益）	11.4	12.6	1.2

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{営業費用}} = \frac{11,030,903,695}{14,246,166,615} = \boxed{77.4\%}$$

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益（営業収益＋営業外収益）}}{\text{経常費用（営業費用＋営業外費用）}} = \frac{13,051,643,005 + 149,444,102}{14,246,166,615 + 630,456,461} = \boxed{88.7\%}$$

$$\text{給与比率} = \frac{\text{給与（医業費用分＋一般管理費分）}}{\text{医業収益}} = \frac{7,144,915,393 + 521,847,634}{11,030,903,695} = \boxed{69.5\%}$$

$$\text{材料比率} = \frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} = \frac{3,235,707,562}{11,030,903,695} = \boxed{29.3\%}$$

$$\text{経費比率} = \frac{\text{経費}}{\text{医業収益}} = \frac{2,316,980,566}{11,030,903,695} = \boxed{21.0\%}$$

$$\text{繰入比率} = \frac{\text{運営費負担金}}{\text{経常収益（営業収益＋営業外収益）}} = \frac{1,653,785,000 + 14,111,000}{13,051,643,005 + 149,444,102} = \boxed{12.6\%}$$